

せい ろう まち
せ 聖籠町
議会だより

VOL.
105
平成26年1月17日発行

元気で3学期スタート



新年のあいさつ

2ページ

**9人が一般質問
委員会報告**

8~17ページ

18・19ページ



▲亀塚地区の上水道工事完了

12月定例会

平成25年第4回定例会は12月3日から9日までの7日間の会期で開かれました。町長から行政報告があり、行政改革・事務事業評価ならびに人事評価の取組状況や、防災計画の作業状況について説明がありました。議案審議では、広域事務組合で運営をし尿処理場を廃止し、新たに新発田市へ処理を委託する件や、町職員給与条例の改正、一般会計補

正予算の認定など10議案を慎重に審議し、すべて原案通り可決しました。また、固定資産評価審査委員の選任に全会一致で同意しました。一般質問では、9議員が2日間にわたり、防災体制・防災訓練、ブランド品育成、新図書館の管理運営、地域活性化等について、町長、教育長にたしました。

し尿処理を新発田市に委託

内容

広域事務組合で運営している「し尿処理場聖紫豊苑」が3月末で廃止となるため、町のし尿処理事務を新発田市に委託する。

主な質疑

くみ取り料金は変わらぬか

五十嵐利栄議員 今までの施設は3月で廃止となるが、施設が新しくなる



▲くみ取り業者は今まで通り

料金は今まで通り

ことくみ取り料は変わることはないか。また、処理施設の変更に伴い、新発田のくみ取り業者が町のくみ取りに入りこむことはないか。

施設は民間に処分

町長 廃止される施設は排水管を撤去の上、土地利用できる状態にして民間に処分する考え。必要な経費は26年度予算で対応する。

委員会は存続

町長 広域の委員会は土地の処分が完了するまで存続する。また、委託料は町の下水道接続率が上がり、処理量が減れば減少する。

施設の土地利用はどうなる

小川益一郎議員 廃止される施設の土地利用はどうなるのか。また、新発田市への委託料はどれくらい行う。

広域事務組合の委員会は解散か

宮沢光子議員 施設の廃止に伴い、関連する広域事務組合の委員会は解散するのか。また、新発田

討論 なし
採決 起立全員により可決

上下水道料金を値上げ

内容

来年4月から消費税が8%となるのに合わせ、水道加入金、水道料金、下水道料金を増額分だけ上乗せする。

主な質疑

値上げでどのくらい影響あるか

中村恵美子議員 消費税の値上げにより、地方消費税が増加するが、町の

影響はある

町長 値上げの影響は少なからずあると考えている。

討論

税務財政課長 消費税値上げに伴う町への増収は平成27年度からである。増額は6000万円から7000万円くらいと予想する。

反対 中村恵美子議員

上下水道料金は1世帯当たり300円の値上げとなり、町長も少なからず影響ありと答弁。消費税が上がる中で値上げには反対する。

賛成 桜井怜議員

税は国の法律改正により町でも改正するもので、国の制度に沿って改正されるべきだ。よって賛成する。

採決

賛成12、反対1で可決

固定資産評価審査委員に

佐藤 栄蔵さん(再任)



さとう えいぞう
佐藤 栄蔵 さん

固定資産評価審査委員の佐藤栄蔵さん(真野)が平成25年12月31日に任期満了となることから、引き続き選任することを全会一致で同意しました。佐藤さんは、人格、見識とも高く、広く社会の諸事情に通じ地域社会で信頼も高い人です。これまでの経験に基づき、適正かつ公正な審査を期待します。

発達障がい通級指導教室 改修工事を承認

一般会計補正予算

- 私立保育園運営補助金 568万円
- 発達障がい通級指導教室改修工事 160万円
- 蓮野小学校児童クラブ臨時雇賃金 64万円
- 聖籠地区(山ノ内)農業基盤整備促進事業補助金 390万円

平成25年度一般会計補正予算は、既定予算に歳入歳出それぞれ3827万円を追加し、総額79億6634万円と定める予算を全会一致で可決しました。

質疑が集中した主なものは、山倉小学校内に改修工事を計画している「発達障がい通級指導教室」160万円と、蓮野小学校内に建設予定の児童クラブの内容です。

主な質疑

何に使うか

小川益一郎議員 私立保育園運営補助金568万円は何に使う補助金か。

人件費として使う

保健福祉課長 私立保育園の人材育成のため、賃金改善に使用する。はじめ保育園とまごころ保育園に対応する。国100%の補助事業。



▲保育の一層の充実を

山倉小学校に設置する発達障がい通級指導教室の集中審議

五十嵐利栄議員 いつから実施し、対象者と職員体制はどうなっている。

学校教育課長 平成26年度から開始し、現段階での対象者は町内3小学校合わせて14人。職員は県から特別支援教育経験者1人を予定している。

中村恵美子議員 通級教室は保護者が送迎し、親も含めた指導と聞いたが、親の負担軽減を図るべきでないか。

学校教育課長 保護者には、家庭でもトレーニングしてもらうため、原則保護者も一緒に受けてもらう予定である。

宮沢光子議員 通級教室の認可は下りたのか。通級教室に通う人たちは全て、保護者の理解は得ているか。

教育長 通級教室の審査中で、12月中旬に内示の予定。14人は全て保護者からの希望者のみである。



▲改修予定の教室

る。

青木順議員 通級教室は夏休みも対応するか。

学校教育課長 夏休み中は対応しない。

児童クラブ待機者ゼロを

中村恵美子議員 来年度の児童クラブ希望者が今年より30人以上多い学区もある。来年度の児童ク

ラブ建設を含めて、待機者ゼロを実現すべきでないか。

待機者ゼロは町の責任

町長 現在、ニーズ調査も行っている。放課後、夏休みなどを含めて、待機者ゼロは、町の責任で実施する。

プレハブの建物か

渡辺利道議員 来年度蓮野小学校に建設予定の児童クラブは、プレハブではないかといううわさもあるが事実か。

プレハブはあり得ない

町長 県の子ども基金も活用して建設する。プレハブなどあり得ない。

誕生祝金は何人分

小川益一郎議員 誕生祝金150万円は何人分か。

25人を予定している

保健福祉課長 今回は25人分計上した。合計では133人で685万円である。

基盤整備390万円どこに使う

小川益一郎議員 基盤整備事業390万円はどこ

に使う事業か。

真野地区の水田対策

産業観光課長 大字真野字山ノ内地区の水田2・

7ヘクタールが対象となる。実施主体は聖籠土地改良区、受益者は24人。



▲真野地区 土地改良予定地

ズバリ直言!! 町政を問う

9 議員が質問

- 12月議会では、9議員から町政を問う一般質問がありました。
- 次ページからは、それぞれの一般質問について要約を掲載しています。
- 全文は会議録として、2月末に町ホームページに掲載される予定です。

五十嵐 利 栄 議員

P9

- 1 全町民一体で
- 2 ブランド力の育成を
- 3 減反廃止にどう対応か
その他の質問(2問)

宮 沢 光 子 議員

P10

- 1 浸透できるか健康増進計画
- 2 夏休みの預かり保育に給食対応を

渡 辺 利 道 議員

P11

- 1 図書館運営は大丈夫か
- 2 病院計画は予定通りか

中 村 恵 美 子 議員

P12

- 1 公契約条例の検討は
- 2 交付団体にならない対策は
- 3 消費税増税の考えは

小 川 益 一 郎 議員

P13

- 1 町長選6期連続出馬か
- 2 ドクターヘリ離発着安全か
その他の質問(1問)

田 中 智 之 議員

P14

- 1 新図書館に要望する
- 2 学力向上の新たな方策を

小 林 政 榮 議員

P15

- 1 農業振興どう取り組む
- 2 生産調整どうする
- 3 どう考える加工センター

青 木 順 議員

P16

- 1 どうなった防災センター
- 2 独立した児童クラブはいつできる
- 3 屋外遊具の充実を

堀 常 正 議員

P17

- 1 案内看板分かりやすく
- 2 スポーツ指導者に支援を

全町民一体で

町長 反省を来年に生かす

問 今年の防災訓練は学校行事と日時が重なった。町民の財産や命を守る防災訓練は町が一体となって実施すべきだ。また3・11震災で宮城県石巻市大川小学校の児童68人が亡くなった教訓から、児童の誘導訓練も一緒に実施できないか。

伊豆大島町で、町の防災体制不備と思われる連絡体制の遅れで、37人が亡くなった。本町の県・町・町民との連絡体制は、大丈夫か。

町長 今年の防災訓練は日程調整がうまくいかなかった。来年は1〜2月頃から学校関係者と日程調整を行って対応する。防災体制について、本町の県・町・町民との連絡体制は、夜間も含めて万全な体制を取っている。**教育長** 避難誘導訓練の重要性は良く理解している。こども園は年8回、小学校は年4回、中学校では年3回、誘導訓練などを実施している。



▲超ブランド品 ル・レクチェの生産力拡大を

成をどう考えている。また果樹のまち聖籠のイメージを維持継続していく、後継者づくりをどう考えている。

町長 サクランボ、ブドウのブランド力を維持するため、観光協会、さくらんぼ出荷組合、観光ぶどう園協議会などと協議していく。新たなブランド品として、里芋、長芋が市場で広がっている。果樹後継者として、人・農地フランを策定し、新たに2人が新規就農した。今後も関係機関と連携を取り、検討していく。

その他の質問
問 広域消防聖籠分署で確認されたアスベストは。
町長 10月22日撤去した。夕彩の郷1億円の不正受給は。
町長 返還を求めている。

ブランド力の育成を

町長 新たに長芋などを

問 阪急ホテルの食の偽装・誤表示問題以降、各地でブランド偽装問題が発生している。しかし、一般的にブランド力に対するイメージや評価は大きい。

聖籠町の特産である、サクランボやブドウのさらなるブランド化、そして新たなブランド製品育成

減反廃止にどう対応か

町長 国の政策をよく見てから

問 40年余り続いた減反政策の廃止など、国の農業政策が大きく変わる。今後のPPP交渉を含め、町の農業をどう指導していく。

町長 国の政策転換による農家のプラス、マイナスの判断は、まだ難しい。PPP交渉参加は反対し続ける。



五十嵐利栄議員



渡辺 利道議員

問 新図書館は順調に工事が進み、その大きさに効果的な管理運営や町予算の圧迫への不安を覚える。新図書館に規模が類似した、佐賀県武雄市の武雄図書館では、23人の体制で年間維持費は1億2千万円だった。

①新図書館は、直営方針で、図書館司書の新規募集を行っている。新図書館は何人採用予定か。また、正規職員以外にも採用予定はあるか。

②新図書館の年間開館日数、および管理運営に携

わる職員数は何人か。

③年間の維持管理費は人件費を含め、どの程度か。

町長 ①新図書館の開館に向けて図書館司書の有資格者を若干名募集し、パート職員等の採用も行う。

②図書館の年間開館日数は、現在より7日増えておおよそ287日を予定し、職員数は臨時職員を含め12人程度を考えている。

③年間の維持管理費は、清掃管理や警備委託、光

病院計画は予定通りか

町長 予定通りと聞いている

問 東京の医療法人「葵会」が東港の第四銀行裏工事に病院建設する計画は、240床のベッド数でほかの病院計画と競合しており、保留状態との話を聞く。

①病院建設は予定通り、今年中に着工し、平成27年4月開業に変更なのか。

②病院の誘致では、「葵会」とは別な医療法人に町長の方から働きかけたとの話を聞いたが、事実

か。事実とすれば、なぜ「葵会」に決まったのか。町長は民生委員の研修会で、「葵会」は自分のいうことを何でも聞く」と豪語していたそうだが、猪瀬東京都知事と徳洲会の関係が連想される。

町長 ①（仮称）新潟聖籠病院の建設計画は、病院と県との調整が一部整っていないということから、当初計画から遅れているが、病院側としては

平成27年4月開業を目指しているとのことである。

②病院誘致については、新発田病院の現状を踏まえ、よく知っている人に出したが、具体的な計画は聞かれなかった。「葵会」が具体的な設置計画を提出し、町で調査検討の結果問題ないことから、手続きを進めている。



▲病院建設予定地 1年後の変貌は

図書館運営は大丈夫か

町長 開館に向け運営体制を強化

浸透できるか健康増進計画

町長 地域に出向く保健指導を核とする

問 町の健康増進計画である「健康せいろう21」が新たに策定された。計画では、町民の年齢層に応じた健康づくりの取り組みを「食生活・健康管理・身体活動」等の六つの分野に分け、具体的な施策、事業、評価指標と目標値を定めている。

健康についての考え方は、町民ひとりひとり個人差があり、意識啓発は難しい。しかし、健康をキーワードにして、まちづくりをしている県内外の自治体の施策が11月17日に新聞報道されている。

日本は今、少子高齢化の時代に入り、医療や介護に係る負担がさらに増



▲スポーツ教室に励む子どもたち

すと予想される。健康増進計画を推進することで町民ひとりひとりが生涯にわたって健康であることが町の繁栄に貢献すると考える。計画の浸透には、庁内各課や外部機関などとの連携、協働することが大事であるが、どう考えているか。

町長 「健康せいろう21」の町民への周知については、冊子を町図書館に配

置し町ホームページなどで周知している。今後も、計画の概要や健康づくりに関する情報を広報紙や町ホームページなどで周知する。

町の健康づくりの核は、過去から積み上げてきた草の根的に地域を訪問する保健指導である。保健師とともに、今は、専門的健康運動指導士も地域に出向き、保健指導を徹底している。

夏休みの預かり保育に給食対応を

教育長 現状では給食対応できない

問 旧幼稚園における通常保育後や長期休業日などの預かり保育の実施は、町の「子育て支援・就業支援」の観点からはずである。

当初、夏休みの預かり保育に給食センターから給食対応されていたが、夏休み期間に給食センターの調理機器などの交換作業をするため、ここ数年、給食対応がない。

仕事をしている保護者にとって、夏休みの弁当の負担は大きい。給食対応が今後もできないのであれば、保護者に対して、民間業者の弁当対応などを選択肢として提案できないか。

教育長 調理場施設の老朽化に伴う修繕等の計画は平成27年度まで策定しているが、その後も計画策定する。保護者には理解をお願いしたい。

弁当業者への対応はいろいろな観点から検討する。



小川益一郎議員

問 渡邊町長は平成6年から5期連続約20年間、聖籠町の最高責任者として行政全般のリーダーを担ってきた。

1人の首長が20年も権力をわがものにする弊害は大きい。

来年8月には町長選挙が執行される。次の立場補で6期連続となる。

次の新しい器にバトンを引き継ぎ、新しい人の英知で新生聖籠町をより豊かで安心安全な町へいざなうことができないか。

町長 ①次の町長選挙に出馬するのかわ。②長期政権をどう認識するか。③4選、5選は好ましくないと公言していたが今も変わりないか。④おいしい水は、若い人が新しい井戸から掘ったものがおいしいと思うかどうか。⑤長期政権で町長に権力が集中し、独裁的行政が見える。人事、能力、改革、評価は今がベストか。⑥これからのまちづくり

に何を求め実現したいか。⑦20年の首長として講評するつもりか。⑧今期の任期がまだ9カ月余も残っている。残された任期を全力でまちづくりに取り組んでいきたい。出馬は白紙である。

町長 ①何期目を長期政権と考えているかは理解しがたい。選挙の都度町民の審判を受けている。②一般論としては好ましくない。③それぞれの考え方によって分かれると思う。④町民皆さんの評価そのものが全てと考える。⑤今白紙の段階で将来構想を述べる立場にない。⑦選挙民の意志が全てと考える。

町長選6期連続出馬か

町長 出馬は白紙

公契約条例の検討は

町長 一定の措置は行った

問 ①公契約条例について町長は「総合的に考えていく場合は、公契約という大きな枠の中で、制度設計の中で法制化することも一理あるかというところで検討している。だから前向きという言葉を使いたい。」と6月議会で答弁した。

どう検討したのか。

町長 ①15%割引地域活性化対策券は行わないのか。

②本町の公契約については、自治体が行うという性格から競争性、公平性、透明性を確保するために、社会経済状況も踏まえて制度改革を行ってきた。

賃金を確保するため、低価格入札の防止対策を講じているので、下請け



中村恵美子議員

や労働者賃金のしわ寄せの防止が図られている。

②地域活性化15%割引券は、事業開始当時と比べて経済動向が緩やかに上向き傾向になってきていることを踏まえて、今年の様子を見るため行わない。

問 ①不交付団体として少しでも長く続くための政策は何か考えているか。

②町の事業の委託料は、約11億円である。そのことについて執行部で議論しているというが、どう議論しているのか。

町長 ①徴税の7割強が東港に立地する企業からの依存である。行政改革の一環の中で、限られた税収を優先性を確保しながら、どう政策に位置付

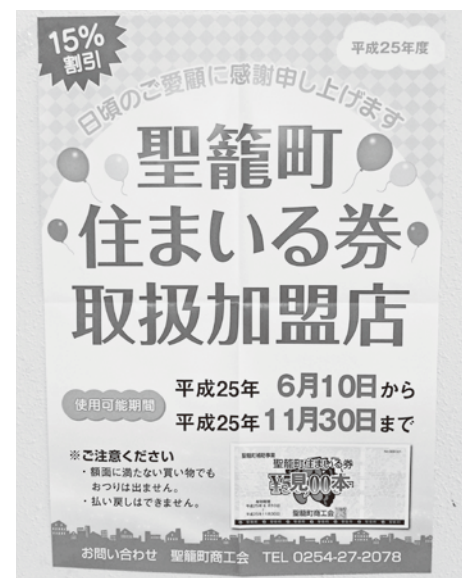
けるか喫緊の課題である。

②委託料総額約11億円の内容を検証した。健全な財政運営を続けるには、委託をはじめ、経常的な経費の見通しが必要である。

法令に基づき保守点検する業務を含め、委託する必要性、内容、効果等の検査を行い平成26年度予算に要求することを通知している。

交付団体にならない対策は

町長 行政改革の一環の中で



▲地域の活性化につながったか住みいる券

問 ①平成26年4月から8%に増税となるがどうか。

②低所得者対策は。

町長 ①国策で決定されたことを町長の立場では言えない。

②低所得者について、市町村民税の均等割が課税されていない者が対象で、1人につき1万円を支給する。

消費税増税の考えは

町長 町長の立場で言えない

ドクターヘリ離発着安全か

町長 安全を確保し変更した



▲新しいドクターヘリ発着基地

問 昨年「新潟手の外科研究所病院」が開設され町内外から大変歓迎されている。

この病院は山倉小学校に近いので、事故で緊急の手術や手当が必要な場合「ドクターヘリ」が派遣される。「ドクターヘリ」の離発着が山倉小学校のグラウンドである。ヘリコプターの騒音や子どもたちの興味をそそり授業の妨げとなる。万一の事故も想定される。

場所の変更を求めたがその後の運用は。

町長 安全管理を考えた、町民会館敷地内テニスコート脇駐車場を指定した。

その他の質問

問 地域活性化券なぜやめたのか。

町長 来年度以降、検討する。



田中智之議員

新図書館に要望する

町長 町民のニーズに合わせ運用する

問 新図書館の開館まであと半年となり、建築工事が進むとともに町民の関心も高まっている。新図書館の方針やサービス内容について質問する。

①新図書館の年間目標貸出数に対応するには司書資格を持つ職員が9〜12人必要で、現在の有資格者5人では足りない。町では新規職員採用の募集をしているが年齢制限がある。開館後の運営をスムーズに進めるため、年齢に限らず即戦力となる人材も採用すべきではないか。

②中・高校生専用の学習室を設置し、それに関連して開館時間の延長を望みたいが、どう考える。

③飲食コーナーには自動販売機を置くと聞く。近

年の図書館は本を読むだけでなく、本を介して交流する場、日常から離れて憩う場などさまざまな役割を持っている。利用者のニーズに合わせるためにカフェの営業も必要では。

町長 ①採用の年齢制限は、ある程度長く勤務してほしいこと、現在の図書館司書等の年齢構成を考慮した。また人数は12人を原則に、今後の運営計画との整合を図り検討する。

②中・高校生への学習対応として、窓際のデスクおよびグループ学習コーナーを設置、長期休み期間には会議室も解放予定だ。開館時間は土曜・日曜・冬期間を除き午前9時30分から午後7時まででいたい。

③テナントは採算性の問



▲建築進行中の新図書館

題もあり、飲食コーナーを計画。近い将来、図書館・役場・結いハート・杉の子のパン屋をモールなどつなぎ、一体的に動ける環境を整えたい。

学力向上の新たな方策を

教育長 より効果的な取り組みを進める

問 今年の全国学力テストで本町の小・中学校は、共に昨年よりも全国平均に近づいた。しかし全国平均に達していないのは事実である。全国には土曜授業の実施や、長期休み中の補習などで大きく学力を伸ばしている学校も多い。全国平均点というハードルを越えるための新たな方策が必要な時期ではないか。

教育長 学力の向上と社会性の育成は表裏一体であり、本町では社会性の育成を核とした12年カリキュラムによって小・中の連携を進めている。教育委員会では、学校・家庭・地域の信頼関係の中で学力向上に取り組んでいくことを基本的スタンスとし、より効果的な取り組みを進めていく。

農業振興どう取り組む

町長 基本計画を策定し対応

問 TPPでの交渉が既に開始され、それまで聖域としてきた「重要5項目」の一部について、関税率Oを検討している。

町長 は、こうした状況に対して基幹産業と位置付ける本町農業を守るために、どのように対応するのか。

町長 生産体制が脆弱な農業の実態という見地から、TPPには反対である。本町農業の優位性を生かした中で、条例に基づいた聖籠町食糧・農業・農村基本計画の策定

を進めている。その中で問題の解決に向けて、具体的に対応していきたい。

生産調整どうする

町長 町の支援策にも限界ある

問 2014年産米の生産目標は大幅に抑制され、さらに生産調整廃止の地ならしとして、減反補助金の減額も実施される。政策の転換によって実施される補助金の減額や選別補助金に対し、今後、どのように対応するか。

町長 国の制度変更によって、農業者が不利益をこうむることのないように、国の対応を注視する。生産調整は国策なので、町独自の支援にも限りがある。

ある。JAなどと連携を図りながら農業振興を図る。農業者自身による、より一層の自助努力をお願いする。

どう考える加工センター

町長 これからが重要・正念場

問 加工センターの現状と今後の利用、運営について、町長はどのように捉え、考えているのか。

町長 加工センターが稼働して3年が経過した。前年に比べて利用者数は増加している。

して、付加価値の高い特産品の開発を含め、6次産業化も視野に入れた中で、農業者自らが、農業ビジネスをつくれるように支援を継続する。



小林政榮議員



▲大転換の水田農業政策

今後は、加工センターの位置付け、機能と有効性を検討し、さらに利用者の意識も確認する。そ



堀 常正議員

問 聖籠町は、果樹のまちとして知られ、サクランボ狩り、ブドウ狩りに多くの人が訪れる。また、温泉施設さぶるん館、マリンス施設海のにぎわい館などの観光施設も多くある。さらに、町民会館やアルビレージのサッカーコートをはじめ、多くのスポーツ施設もある。

これらの施設を利用する人たちが町を訪れている。しかしながら、観光地や施設までの案内看板が少なかったり、表示が不親切だったりで分かりにくく評判が良くない。従来、案内看板をあらため、農産物、公共施設、観光地などのPR看板を町外者にも分かりやすい案内看板、PR看板にすべきでないか。また、文字だけでなく、絵を入れたり、カラー色彩にしたり、写真印刷を採用するなどのPR看板も、農業振興には必要でないか。

町長 看板の数は多くはないが、地場物産館やさぶるん館、海のにぎわい館などの主要施設には観光案内看板を待たれている。小学校は避難所と指定されているが、非常電源は確保されているか。



▲待たれる目立つ看板を

案内看板分かりやすく

町長 目的は達成されている

光パンフレットやマップなどを配置している。また、観光協会のホームページでの情報発信や、近年のカーナビ普及により、目的地までスムーズに案内されるようになっていいる。おおむね案内看板の目的は達成している。

スポーツ指導者に支援を

町長 対応している

問 少子化によりスポーツ活動に参加する子どもたちが少なくなってきた。そんな中、少年チームの指導者、監督が頑張っている。子どもたちを下から支え、地域に根差した活動を展開している。その成果が表れ、下越大会、県大会にも多くのチームが出場し、上位入賞、優勝するチームも出ている。最近では、以前のようなボランティア的活動で済まなく、週二、三回の練習や試合もこなしている。

この最前線で一生懸命戦っている指導者の費用も当然膨れているが、町からの支援をすべきでないか。

町長 スポーツ推進委員や体育推進委員には報酬を出しているが、各団体の指導者には直接的支援はしていない。しかしながら、青少年の健全育成の方から支援している。スポーツ振興、青少年健全育成の立場からも対応を図っている。

どうなった防災センター

町長 実施計画中である

問 震災から2年8カ月余りがたち、少しずつだが復興も進んできているようである。わが町の安心安全なまちづくりとして、災害時必要となるものは、非常用の機材や食料などの備蓄体制ではないか。

①旧公民館の防災倉庫を耐震構造の防災センターとして整備するところがあるがどうなったのか。

②町独自の備蓄強化を図るとあったが、できているのか。

③町の防災倉庫は、物がいっぱいだと聞いているが、各小学校など地区の安全な所に分配し配置できないか。

④災害時、ライフラインの遮断などで発電機が非常に役に立つと聞いている。



▲改築が待たれる防災倉庫

小学校は避難所と指定されているが、非常電源は確保されているか。

町長 ①27年度に建設を予定しているが、国の動向次第では前倒しになる可能性もある。

②備蓄強化については、被災想定を1400人とし3日間の飲料水、食料、毛布等の備蓄を計画中有る。

③小学校等に備蓄している。

く考えは、校内には不可能だが、隣接地に備蓄倉庫を各学区に整備する必要性は感じている。

④非常電源については管理者と検討する必要があると考える。

独立した児童クラブはいつできる

町長 26年度に予算化を図りたい

問 町長も町民の負託を受け、残りの任期は9カ月程度だ。先を見通した取り組みなど、国県を相手に町を強靱化し、暮らしやすさを維持していかけるもの、継続は力なりと考えている。そこで現在3小学校にある児童クラブは、保護者の仕事と子育てに大きな役割を果たしている。始めに蓮野小学校地区内に独立した児童

保育施設を建設する準備をしているとのことだが、来年度、国県の予算対応によっては町での予算化が可能か。

町長 児童クラブについては、既に国から県の子ども基金がつくられている。それを活用し、県児童家庭課と協議し、来年度は必ず交付金を受けられるという前提で計画立てをしている。

屋外遊具の充実を

教育長 必要に応じ整備する

問 老朽化や危険と判断され、外で元気いっぱい遊べる遊具が少ない。維持管理も踏まえ、今後整備する考えはないか。

教育長 経年劣化により以前に比べ遊具は少ない状況である。さまざまなお効果もあるため、安全で効果的な遊具を整備していく。

議会広報103号の 診断を受ける

議会広報

10月17日、県議長会主催の町村議会広報研修会が開催された。県内9町村の広報委員と事務局が研修を受けた。

研修会は最初に、田上町、出雲崎町および津南町の広報委員長が、それぞれの議会広報作成の留意点などを発表した後、意見交換を行った。

午後は全国町村議会広報審査委員長の深沢徹先生から「議会広報に求められるものは？」のタイ

トルで講義を受けた。その後本町広報103号の診断を受けた。

冒頭、本町議会広報は、県内ではナンバーワンの広報づくりと評価され、103号でも先輩議員が築いてくれた伝統は脈々と受け継がれているとの言葉をいただいた。特に表紙の写真はナイスショットと絶賛を受けた。次に、ページごとに細かい指導を受け、①見出しの硬い表現は避けること、②歳出に対する歳入財源を明記すること、③〇〇について等「一つ一つ」見出しは避けることなど指摘を受け、出席者一同広報づくりの励みと教訓を得て、研修を終了した。



▲熱弁指導の深沢先生

あんなことや こんなことを 調査 委員会

あんなことや こんなことを 研修 報告

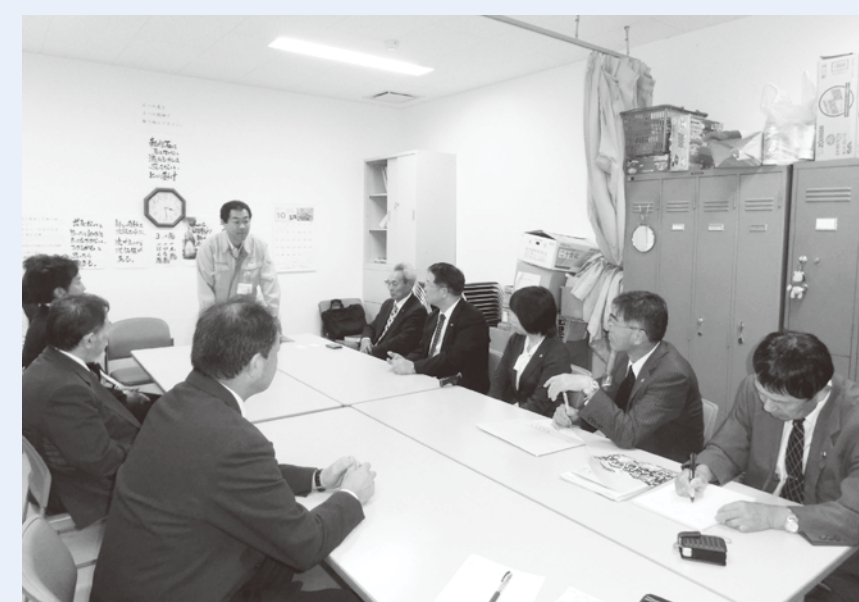
一般質問を
エフエムしばた (76.9 メガヘルツ)
およびインターネット
(詳しくはエフエムしばたホームページ：
<http://www.agatt769.co.jp>)
で放送しています。



本委員会は、10月21日、兵庫県篠山市および丹波ささやま農業協同組合の農業振興・支援策を視察した。

篠山市における農政への対応としては、市の歴史性を背景として、自然条件の特性を活用した作物を積極的に栽培し、丹波ささやまのブランドを基に、官民一体となって多様な取り組みを行っている。

本町も、聖籠産農産物のブランド化への対応を考へる必要がある。



▲篠山市のブランド品 丹波の黒豆を視察

野洲市図書館建設・運営を学ぶ 教育・図書館運営の先進地を視察調査

総務文教

10月24日・25日、幼保小中一貫教育の先進地である京都府久御山町および滋賀県野洲市図書館の視察調査を行った。

久御山町は行政改革の一環として、保育・教育を進めるため、町全体を大学のキャンパスと捉えた久御山学園構想を進めている。この構想は、地域や町全体が総掛かりでの子育てを目指して生まれたものである。

野洲市図書館、ほほえみ情報交流センターは、

人と地球にやさしい建物として、平成14年8月誕生した。特徴として、太陽光発電・雨水利用・採光の他、車いすが回転できる空間や手すり、おむつ替えシートの設置、障がい者に配慮したブース等を設置している。本町の図書館建設に、提言し善処を望む。

ブランド化を目指して

厚生産業

☆ 議会を傍聴に きませんか

次回の**定例会**は、
3月4日(火)開催の予定です。

議会では、どんなことが議論されているのか。どんな計画があり、どう進んでいるのか。あなたに身近なこともかもしれません。気軽に傍聴においでください。

また、本会議での一般質問のようすをラジオ放送「エフエムしばた」やインターネットでも生放送しています。

都合で議場には来られない方も、ぜひ放送に耳を傾けていただき、ご意見、ご要望などをお気軽に私たち議員にお寄せいただければ、と思っております。



★表紙の写真★

「元気で3学期スタート」

1月7日始業式。寒さに負けず元気に登校する子どもたち。
(山倉小学校)

発行責任者

議長 須貝 龍夫

広報対策特別委員会

委員長 五十嵐利栄
副委員長 渡辺 利道
委員 堀 常正
田村富美男
田中 智之
青木 順

みんな

の

ページ

聖籠町に嫁いで来た お嫁さん

何にもかもが新鮮です



かんだ
神田 しいな さん
(丸湯)

Q どんなきっかけで彼と知り合いましたか？

バンドメンバーの募集がきっかけで知り合いました。

Q 聖籠町に嫁いできてどんなイメージを持ちましたか？

自然がいっぱいで、街中に住んでいた私にとって何にもかもが新鮮です!!

Q 町での生活はどうですか?(楽しい新婚生活のエピソードもあったらお聞かせください)

まだまだ道が分からなくて迷子になってしまうこともあります。家族に支えられて毎日楽しく過ごしています。

Q 町に望むことはありますか？

みんなが安心して幸せに暮らせるような町であってほしいです。

今回は新潟市出身で平成25年11月に嫁いで来た神田しいな(旧姓 小嶋)さんです。

皆さんよろしくお願ひします。

皆さんもみんなのページ「聖籠町に嫁いで来たお嫁さん」に出てみませんか。対象者は町外から嫁いで来たお嫁さんです。自薦・他薦は問いませんので、お気軽に聖籠町役場内議会事務局 (Tel. 0254-27-1967) までご連絡ください。

編集後記

台風26号が襲来し、伊豆半島に甚大な被害がでた。記録的豪雨で土石流が発生し死者37人、行方不明者9人。また台風30号はフィリピンのレイテ島・サマール島を襲い、死者が5500人、行方不明者1757人、負傷者は2万6千人を超えている。

国内でも予測不能なゲリラ豪雨、竜巻などが日常的に起きている。

日々、異常気象から命を守る心構えを持ちたいものである。災害のない年であるよう祈る。

議会広報対策特別委員会

委員 田村 富美男